

院長挨拶

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
当センターは、昨年5月の新病院開院を起点に最新の医療設備を整え、診療科を拡充することにより、南河内地域において、良質な医療を提供できる環境を整えて参りました。
今後さらに医療機能を強化することで、先進性と専門性を発揮した政策医療の推進や、結核および

感染症、呼吸器疾患治療における併発症への対応、高度専門性を活かした地域医療への貢献に積極的に取り組み、地域の基幹病院としての役割を果たしていく所存です。
本年もより一層皆さまのご期待に添えるよう、スタッフ一同精進して参ります。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



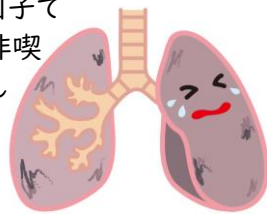
院長 山口 誓司

HABIKINO最新ニュース

肺腫瘍内科より

たばこを吸わない、がん家系でないから大丈夫？

肺がんは喫煙が最大の危険因子であるとされてきましたが、近年、非喫煙者の肺がん患者さんが増加しています。肺がんは、男女ともに死亡数が多いがんの一つであり、高齢化が進む近年では、がんの罹患数、死亡数は増加傾向にあります。この原因としてPM2.5などの大気汚染も肺がんのリスクとされています。



環境要因以外にもがん遺伝子の異常によって起こる肺がんが次々と明らかになっています。肺がんの最も多い組織型である腺がんでは非喫煙者の場合、半分以上ががん遺伝子の異常によると言われています。

このがん遺伝子は親から遺伝するという意味ではなく、がん細胞だけが持っている遺伝子のことを指します。つまり血縁者ががんになっていなくても突然なる可能性があるということです。残念ながら未然に防ぐ方法はなく、検診により早期発見に頼らざるを得ないのが実情です。

心臓血管外科より

足の痛みやしびれが気になったら・・・

それは足の動脈硬化（閉塞性動脈硬化症）による症状かもしれません。足の動脈硬化によって血管が狭窄、閉塞し虚血が生じると、冷感やだるさ、歩行時のふくらはぎの痛み、足先の潰瘍などが起こります。虚血が進むと足を切断することもあります。

糖尿病や高血圧、高脂血症などの生活習慣病が危険因子で、心臓や脳の動脈も同様に虚血に陥ることが多く、なんらかの足の症状がある患者さんでは10年生存率は10-50%と大変低くなり、一部のがんより予後不良となります。動脈硬化に関連する病気は日本人の死因の約3割を占めています。

治療は初期には薬物療法、運動療法となりますが、症状が進行すると血行再建術が必要となります。カテーテル的に足の血行を再建することが多いですが、不可能な場合は手術が必要となります。

気になる方は、定期的な足の動脈硬化（血管年齢など）の検査をお勧めします。



2つのクリスマスイベント

はびきのクリスマスコンサート

患者さんに少しでも入院生活を快適に過ごしていただきたいとの思いから、12月20日(水)にセンター内においてクリスマスコンサートを開催しました。



職員有志による「アコースティックユニット」と職員が所属する楽団のメンバーによる「木管アンサンブル」により、お馴染みの歌謡曲からクリスマスソングに至るまで、約1時間の充実したプログラムをお届けしました。

演者のパフォーマンスや普段目に触れることのない楽器の紹介や楽曲エピソードなどは観客の笑いと感動を誘い、終始和やかな雰囲気会場を包んでいました。



クリスマスソングの演奏では患者さんが一緒に口ずさむなど、演者と観客が一体となった、とてもあたたかいコンサートとなりました。

クリスマスソングの演奏では患者さんが一緒に口ずさむなど、演者と観客が一体となった、とてもあたたかいコンサートとなりました。

小児病棟クリスマス会

メリークリスマス!!

12月22日(金)に、小児病棟でクリスマス会を行いました。

病棟スタッフや保育士が企画し、子どもたちは制作やゲームを楽しんでいました。そして今年も病棟にサンタさんがやってきました。



「治療頑張ってるね」とサンタさんに声をかけられ、照れている子どもたち。プレゼントをもらうと、とても嬉しそうキラキラの笑顔を見せてくれました。

初めてサンタさんを見て泣いてしまう子、驚いて「プレゼントいらない!」と突き返す子、サンタさんの正体を見



抜こうとしている子、一人ひとりの素直な反応がとても愛らしく感じられました。病院で頑張っている子どもたちや保護者の方々の療養の励みになってもらえるよう、病棟スタッフと医師一同、これからも努めていきたいと思ひます。

「羽曳野からだ塾」を開催します

府民の皆さまの健康増進を目的に、3月2日(土)当センターにて府民公開講座「羽曳野からだ塾」を開催いたします。テーマは「丈夫な体づくりを目指そう」と題し、高齢化に伴い増加傾向にある「骨粗しょう症」に関することや「筋肉・骨を強くする食事」について、「転倒予防体操」のご紹介など、当センター職員がお話しいたします。ぜひご参加ください。

日時 2024年3月2日(土) 14:00~16:00

会場 大阪はびきの医療センター3階 講堂
(大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番1号)

定員 先着100名

費用 無料

テーマ 「丈夫な体づくりを目指そう」

* 手話通訳あり * 駐車場無料(駐車券を会場までお持ちください)

■ 講座の内容

- ① 骨粗しょう症 ~あなたの骨は大丈夫?~
整形外科/リハビリテーション科 主任部長 塚本 泰徳
- ② 「100歳まで歩ける!」を目指した体づくり ~筋肉・骨を強くする食事~ 栄養管理室 総括主査 中村 祥子
- ③ 転倒予防体操について
リハビリテーション科 理学療法士 河津 達也

■ 申し込み方法

3月1日(金)までに、電話またはQRコードより「参加申し込みフォーム」にてお申し込みください。



お申し込みフォーム

■ 申し込み・問い合わせ先

大阪はびきの医療センター 事務局 総務グループ
電話(代)072-957-2121(平日9:00~17:00)

ホームページ

令和6年1月 第259号

編集・発行 大阪はびきの医療センター

